

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 愛媛県 】

学校名【 大洲市立久米幼稚園 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・ V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	年少児（3歳児）： 4名 年中児（4歳児）： 5名 年長児（5歳児）： 10名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 () ③ その他 (運動遊び) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	○ 運動（スポーツ）を行う楽しさや喜びを味わう体験を通して、幼児の運動（スポーツ）に対する興味・関心を高め、運動（スポーツ）を楽しむ心を育てる。 ○ 継続的に運動（スポーツ）を行い、健康、安全な生活に必要な習慣や態度を育てる。
5 取組内容	○ 日ごろの保育での運動遊び（事前指導・事後指導） <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;">園庭や遊戯室、プールなどでの活動</div> 

○ サッカー教室（事前指導・事後指導）

おおずスポーツクラブの谷本稔氏を迎えての活動



愛媛FCの信谷純平氏、武村和樹氏を迎えての活動



○ 体操教室

愛媛県スポーツ専門員の出口諒財氏、小浜廣仁氏、大野健志氏を迎えての活動



鉄棒・マット運動・跳び箱について教えていただきました。



<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな運動遊びに取り組めるようにしたり、外部の人材を活用したりすることで、幼児の運動遊びへの興味や関心を高めることができた。 ○ 幼児は、運動を行う楽しさやできるようになる喜びなどを味わうことで、自分なりに目標を持って取り組むようになり、あきらめず、繰り返し挑戦する意欲が持てるようになった。 ○ 幼児は、体を動かして遊ぶことで空腹感を感じ、食欲が増すとともに、体力ができ、体づくりの取組につながった。 ○ 幼児は、いろいろな動きを経験することで、体の使い方がうまくなり、自信が持てるようになった。 ○ オリパラ教育を意識した保育について考えたり、講師等から専門的な指導方法を教えていただいたりすることで、教職員も学びを得ることができた。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本事業全般において <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度、オリパラ教育を経験している幼児が、全幼児数の半数ほど転園してきたので、これまでの経験を踏まえつつ、昨年度とは違った活動もできるようにした。 ○ 日ごろの保育での運動遊びにおいて <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動遊びができる環境を設定するとともに、全員で活動する時間をつくり、いろいろな運動遊びに親しめるようにした。 ・ ホワイトボードに獲得ポイント数を記入し、えひめ子どもスポーツITスタジアムへの参加意欲が高まるようにした。 ○ サッカー教室において <ul style="list-style-type: none"> ・ 可能なときは、十分な活動の場を確保するため、隣接する小学校の運動場を借用して活動できるようにした。 ・ 3歳児と4・5歳児の2つのグループに分け、時間の調整を行い、活動できるようにした。 ・ おおずスポーツクラブに依頼し、愛媛FCの選手を招聘していただき、活動できるようにした。(月に1回、おおずスポーツクラブのコーチに来ていただき、活動している。) ○ 体操教室において <ul style="list-style-type: none"> ・ 十分な活動の場を確保するため、隣接する小学校の体育館を借用して活動できるようにした。 ・ 3・4・5歳児混合1クラスという編成であるため、教職員の連携を図り、各学年の発達特性を踏まえ、それぞれの学年で活動できるようにした。(各学年で1つのグループとなり、担当の教職員を付け、3つの種目に対して、それぞれ20分ずつ、ローテーションしながら活動できるようにした。)
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症の感染状況により、予定していた行事が実施できなかつたり、活動内容に制限がかかたりすることもあるので、代替案を考えておくことが必要である。 ○ 幼児が運動(スポーツ)を行う楽しさや喜びを味わえる教材の研究や活動の工夫、環境構成、教師の関わりを行っていくことが大切である。 ○ マンネリになることなく、前年度の取組や幼児の姿を踏まえた活動を計画することが大切である。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリパラ教育の実践テーマは、普段の保育を通して、幼児の育ちにつながるものであるので、今後も、幼児の豊かな心を育む保育実践に努めることが大切である。 ○ 教職員の異動等があっても、これまでの取組が継続できるよう、引き継ぎを行うことが必要である。
<p>9来年度以降の 実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ サッカー教室・えひめ子どもスポーツITスタジアムへの参加の継続 ○ スポーツ専門員を招聘しての幼稚園訪問 ○ 可能であれば、愛媛県地域活動推進事業幼稚園・保育園訪問活動（愛媛マンダリンパイレーツ球団との交流活動）への参加の継続